



〈雑録〉日清兩國外國貿易ノ特色

瀧本，美夫

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 1(5):715-718

(Issue Date)

1906-10

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051073>



日清兩國外國貿易ノ特色

瀧本美夫

清國ノ外國貿易ハ其數字面ニ於テハ最近二十年來大ニ進歩シタリト雖モ若シ其數字ヲ金貨價格ニ換算シテ連年ノ貿易額ヲ比較スル時ハ一八八〇年代ヨリ一八九八年迄ニ殆ド増進ノ跡ヲ見ズ其大ニ増進スルニ至リシハ實ニ一八九九年以後ニアリ日本ノ貿易ハ明治十九年（一八八六年）ニ不換紙幣ヲ整理シタル以後年々若干ノ進歩ヲナシ日清戰爭後非常ノ速度ヲ以テ増進シタレバ一八七〇年代ニハ其貿易額ハ支那ノ貿易額ニ比シテ約四分ノ一ニ過ギザリシモ一八九二年ニハ其二分ノ一ニ及ビ一九〇四年ニハ輸出ハ殆ド同額ニ達シ輸入ハ約壹億圓ヲ輸スルノミトナレリサレバ日本ノ進歩ハ實ニ驚歎ニ値スルガ如シト雖モ翻テ之ヲ西洋諸國ニ比較スル時ハ前途ノ尙

甚ダ遼遠ナルヲ思ハズンバアラズ即チ英、獨、米、佛、露、埃、以等ノ第一二流ノ諸國ニ比シテ遙カニ及バザルノミナラズ蘭、白、英領印度、加奈太、及濠洲ニ比スルモ尙未ダ其下風ニ立タザルヲ得ズシテ唯纔カニ瑞西、西班牙、瑞典、あるせんちん等ト同列ニ在ルニ過ギズ殊ニ日本ノ人口ガ四千六百餘萬ノ多數ナルコトヲ思ヘバ其案外ニ僅少ナルコト寧ロ奇怪至極ト云フモ不可ナキナリ蓋シ我國ノ人口一人宛ノ貿易額ハ僅々拾五圓ニシテ以太利ニ比スルモ尙約三分ノ一ニ過ギザルナリ若シ夫レ清國ノ貿易額ノ少キハ更ニ一層驚クベキ事柄ニシテ其人口一人宛ハ僅カニ參圓五拾錢ノミ、サレバ貿易額ガ人口ニ比較シテ非常ニ少キ一點ハ日清兩國ノ貿易ニ共通ノ事柄ナレドモ更ニ仔細ニ其内容ヲ觀察スル時ハ其特色ノ全ク相反スルモノアルヲ見ルベシ今左ニ其概略ヲ述ベン

(第一) 清國ノ輸出品ハ殆ド農產品ノミナルニ反シテ日本ノ輸出品中ニハ工業品漸ク多キヲ占

メントスルコト、清國ノ輸出品ハ一八八〇年代ニハ茶ト絹トノ二品ヲ主トシ其價格ハ輸出總價額ノ八割二分ヲ占メシモ其後漸次品種ヲ増加シ豆、豆粕、菜種、油、綿花、麻、雞卵、羽毛、獸脂、家畜、皮革、菓實、煙草等ノ輸出著シク増加シテ現今ニテハ茶ト絹トハ輸出總額ノ四割ヲ占ムルノミトナレリ而シテ清國ノ輸出品中工業品ニ算スベキモノ、價額ハ輸出總價額ノ約五分ノ一ニモ達セズ而カモ其一部ハ海外ニ在留スル清國人ノ需要ヲ充タスニ過ギザルナリ、サレバ清國ハ其輸入品ノ代價ヲ拂フニ主トシテ其農產物ヲ以テセザルベカラズ、然ルニ農產物ノ產出ハ工業品ノ如ク急速ニ増加セシムルコト能ハズ唯交通機關ノ發達ニヨリテ海岸ヨリ遠キ内地ノ產物ヲモ漸次ニ貿易品トナシ得ルニ過ギザルヲ以テ清國ノ貿易ハ今後ニ於テモ急ニ大ニ増進スルコトハ無カルベシ之ニ反シテ日本ノ輸出品ハ一八八〇年代ニ於テハ絹、茶、米、銅及石炭ノ五品ガ輸出總價額ノ四分ノ三ヲ占メシガ今ハ大ニ其形勢ヲ

變ジテ工業品ガ約五分ノ二ヲ占ムルニ至リ就中
絹織物ト綿糸トノ二品最モ重要ナル位置ヲ占メ
綿布、綿製品、燐木、華筵等之ニ亞グ、サレバ日
本ノ貿易ノ増進ハ支那ノ場合ト同ジク原料品輸
出ノ増加ニモ基因スルコト明カナレドモ其特ニ
清國ヨリモ急速ニ増進シタル所以ノ理由ハ工業
ノ進歩ニ存スト云ハザルベカラズ

(第二)清國ノ輸入品ハ主トシテ直接ノ消費ニ
供セラル、物品ナルニ反シテ日本ノ輸入品中ニ
ハ生産資料ニ供セラル、モノ多キコト、從來清
國ノ輸入品中最モ重要ナリシハ鴉片ト綿製品ニ
シテ鴉片ハ一八六四年ニハ輸入總價額ノ四割ヲ
占メシガ其後毫モ増進セズ寧ロ漸次減退セシヲ
以テ今ハ輸入總價額ノ一割ヲ占ムルニ過ギザル
ニ至リシガ綿製品ノ輸入ハ年ト共ニ増加シテ常
ニ輸入總價額ノ三割乃至四割ヲ占ム其他石油、
砂糖、及米(不作ノ場合ニ限ル)モ亦輸入品中重
要ナルモノナリ而シテ各種ノ輸入品ヲ通覽スル
ニ綿糸ヲ除ケバ概シテ消費物ノミニシテ生産資

料ト見ルベキモノ、甚ダ少キハ著シキ現象ナリ
勿論最近時ニ至テハ多少形勢一變ノ傾向モアレ
ドモ一九〇四年ノ輸入品中原料品、半製品及機
械等ノ生産資料トシテ算スベキモノハ僅カニ一
割二分ヲ占ムルニ過ギザルヲ以テ此ノ方面ヨリ
見ルモ清國ノ購買力ガ將來急速ニ増加スベシト
ハ思ハレズ之ニ反シテ日本ノ輸入品中消費品ト
生産資料トハ一八八〇年代ニ於テ既ニ相半シ爾
後常ニ後者ヲ多シトス、サレバ日本ノ輸出ハ今
後益々長足ノ進歩ヲナスト共ニ購買力益々増進
シ輸入モ亦大ニ増加スルコトナルベシ

(第三)清國ハ食料品ヲ輸出シ日本ハ之ヲ輸入
ス、清國ノ農產物輸出ガ漸次ニ増加スルニ反シ
日本ノ農產物ハ最早内國人ノ食料ニ充ツルニス
ラ不十分ナリ顧ミレバ一八八〇年代ニハ日本ハ
多クノ米ヲ輸出セシガ一八九七年以來ハ米ノ輸
出ニ對スル輸入ノ超過益増加シ甚ダシキハ一九
〇四年ニ於テ八十四萬噸五千五百萬圓ニ達シタ
リ而シテ尙此ノ以外ニ豆、小麥、麥粉等ノ輸入モ

清國ノ輸出 (數字ノ單位ハ百萬兩)

	1888	1889	1903	1904
總價額	92.4	96.9	214.0	239.0
1. 其內				
2. 絹織品	31.1	28.3	26.3	30.7
3. 絹織品	23.8	28.6	59.3	65.7
4. { 絹織品	8.4	7.8	15.0	12.6
5. { 絹織品	9.41	8.81	22.53	23.14
6. { 絹織品	9.64(2)	13.11(3)	57.99	74.37

授ノ論文ニ據ル) Schmoller's Jahrbuch ニ載セタルらとげん教

益々増加シツ、アルナリ而シテ其結果トシテ我國ニ於ケル食料品ノ價格ハ世界市場ニ於ケル價格ト平準ヲ保ツニ至リ隨テ生活費高クナリテ勞銀ノ騰貴シタルハ自然ノ勢ナリトス

以上ノ三點ハ日清兩國ノ外國貿易ヲ觀察スルモノ、齊シク認ムル所ナリ今左ニ兩國ノ輸出入略表ヲ掲ゲテ前文ノ參照トセン(本文ハ近着

清國ノ輸入

	1888	1889	1903	1904
總價額	124.8	110.9	327	344
1. 鴉片	32.3	30.4	43.8	37.1
2. 綿織品	44.4	36.1	128.6	124.1
3. 毛織品	5.1	3.4	4.0	4.2
4. 其他ノ織物	0.1	0.1	2.2	3.0
5. 金屬及其製品	6.9	6.7	15.3	21.2

日本ノ輸出 (單位百萬圓)

	1888	1889	1903	1904
總價額	65.7	70.1	289.5	319.3
1. 生絲・茶・米・銅・石炭	49.0	50.1	134.5	139.5
2. { 海產物・其他ノ食料・飲料・藥品・油蠟・用材	6.4	8.7	24.6	30.7
3. 雜貨	3.8	4.0	9.8	11.6
4. 紡織製品	2.0	3.3	76.2	88.6
5. 其他ノ工業製品	1.5	1.5	25.3	28.7

日本ノ輸入

		Bノ内譯				
A消費物		製鐵品及其	機械	絲類	紡績原料	藥品
1875	18.5	8.5	1	1	4	0.4
1885	16.6	13	2	1.5	5.4	0.8
1889	30	36	5.2	5.3	12.9	6.1
1895	60	70	10	6	10	26
1902	112	160	18.8	11.4	3.3	85.6
1903	157	160	21.9	12.5	3	77.1
1904	168	203	24.9	14.8	3.8	86.5